



一口100万円プロジェクト 2025年春募集

東ティモールにおける 小学校の教室建設プロジェクト

東ティモールは国民の41.8%※¹が貧困状態にあり、基本的な衛生サービスの利用割合は58%※²です。プロジェクト実施地は自然災害が発生しやすく、今ある教室は竹や木などの資材で建設され、脆弱で老朽化も進み安全ではありません。教室も足りないうえ椅子や机、教材も不足し十分に学べる環境ではありません。また、学校にトイレはなく子どもたちは校外へ排泄しに行きます。プロジェクトでは新しい教室とトイレの建設および教室備品の支給などを通じて、子どもたちの学習環境を改善し安全な教室で学べるよう支援します。温かいご支援をお待ちしております。

※¹ World Bank, Country Profile, pip.worldbank.org/country-profiles/TLS

※² Unicef MICS, 2022, Timor-Leste,

●活動期間 2025年9月～2026年8月（予定）

●実施地域 マヌファヒ県

- おもな活動内容
 - ・3教室、男女別トイレおよび手洗い場の建設
 - ・教室備品、学習教材、スポーツ用具の支給
 - ・児童・教師対象の意識啓発（ジェンダー平等、子どもの権利、衛生等）
 - ・コミュニティ住民対象の意識啓発（子どもの権利、女の子の就学の重要性等）

- 対象者
 - ・対象校の児童約200人（うち女の子125人）
 - ・教師9人
 - ・コミュニティ住人約600人

●予算 2,500万円



老朽化が進むプロジェクト対象校



対象校の授業の様子
ひとつの椅子を分け合い、机はない



衛生に関する意識啓発

現地からの メッセージ

ジョアオさん
村の小学校長

私たちの学校に新しい教室を建設くださると聞き大変嬉しく思います。2004年に立てられた校舎は20年以上が経ち、老朽化して雨漏りし児童が安全に学べる場所ではなくなっています。



ファレンシアさん
12歳 支援対象校の児童

私たちの学校には、机や椅子が十分になく、勉強するのにふさわしい場所ではありません。手洗い場やトイレもなく悲しくなります。

プロジェクトの詳細はこちらへ



本プロジェクトに関するお問い合わせはこちらまでお願いします

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

「一口100万円プロジェクト」担当

Mobile: 080-7739-3430 TEL: 03-5481-6100 E-mail: hello@plan-international.jp

※ウェブサイト「一口100万円プロジェクト（東ティモール）」紹介記事のフォームからお問い合わせ、お申し込みいただけます



教室が足りない。
みんなが一緒に
学べる教室を。

一口100万円
プロジェクト
東ティモールにおける
小学校の教室建設

2025年春募集

期間:

2025.4/1(火)～6/30(月)



プロジェクトの詳細は裏面をご覧ください。

一口100万円で、個人もしくはグループで
ご支援いただくプロジェクトです。

ご支援いただくと

- お名前の入った記念プレートを設置します
- プロジェクトの進捗報告書をお届けします
- 活動地域をご訪問いただけます*
- 節税にもなる税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けられます

*現地事情により訪問できない場合があります

ご支援ありがとうございました！

過去に実施した一口100万円プロジェクトのご報告

スーダンにおける教育支援（2022年春募集） 「子どもの教育と女の子を古い慣習から守るプロジェクト」



長きにわたる南北の内線と国内紛争による戦禍により社会基盤が破壊され、基本的なインフラが未整備なスーダン。教育においても、子どもたちは老朽化した施設を使い続けていました。また、女の子への教育の重要性についての知識・理解が不足しているため、女の子が学校に通い続けることを難しくし、FGM（女性性器切除）や早すぎる結婚も女の子たちを取り巻く課題でした。



以前の教室



教室外観

安心して安全な教室で学ぶ環境を整える

教室の建設に加え、女の子たちがジェンダーに配慮した安全な環境で教育を受けられるよう、女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の防止の啓発トレーニングを行いました。



成果 1

小学校の教室と教員室、男女別トイレの建設



新しい教室



男女別トイレ



アムシャさん
12歳 児童

「トイレを建設していただきありがとうございます。トイレに行きたいときはいつも家に帰っていたので、次の授業に間に合いませんでした。これからはすべての授業に出られます」

成果 2

小学校教師 **27**人と PTA **31**人が、
ジェンダー平等のトレーニングを受けました



ムタシムさん
PTAメンバー

「FGMや早すぎる結婚がおよぼす負の影響について学びました。地域で協力してこれらの古い慣習をなくしていかなければならないと思っています。また、子どもの権利、子どもを性的虐待や社会的な搾取から守る方法についても学んだので、地域で子どもを保護する活動に活かしていきたいです」



小学校教師たち

保護者、コミュニティ・リーダー、
地域住民の **1,094**人が
女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の問題、
女子教育の重要性についてのトレーニングを受けました



アブダラさん
コミュニティ・リーダー

「女子教育の重要性についてよく理解できました。私のコミュニティで、娘3人を中途退学させた保護者がいましたが、PTAと協力し、娘たちに勉強を続けさせるよう保護者を説得しました。彼女たちは学校に戻ることができ、無事に卒業することができまし

た。これは、女の子たちが教育を続けることができた良い事例です。また、FGMの施術をしないことを決意した女の子10人がいるので、彼女たちをロールモデルとして、FGMの根絶を広めていきたいです」



地域住民へのトレーニング

思春期の女の子 **221**人に
石けん、生理用ナプキン、下着などの
月経衛生管理キットを配布



月経衛生管理キットの配布



illustration by Noriyuki Goto

ご支援者の声

報告書の写真がわかりやすくよかったです。スーダン全体から見たら米粒ひとつの出来事かもしれませんが、教室が長く使われることを願っています。
(茨城県 H・K様)

昨今どのお金が使われているのかよくわからないなか、プランは報告をしてくれるので本当に安心して寄付できます
(東京都 R・N様)

経過報告も含め丁寧に進めていただいたのはよかったです。報告書の子どもたちの笑顔がうれしいです
(大阪府 S・M様)

**短期間に高額な資金で実施する支援は
目に見える大きな変化をコミュニティにもたらし、
地域開発支援の効果を加速します。**



記念プレート